

眼瞼検査—眼瞼挙筋機能検査



目的

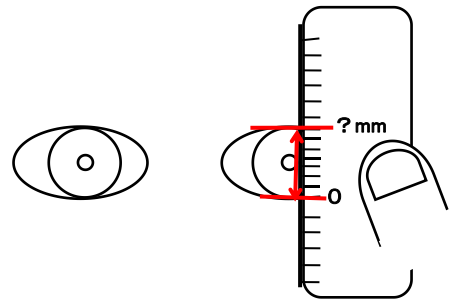
- ・偽眼瞼下垂と真性眼瞼下垂との鑑別
- ・眼瞼挙筋前転術の手術量の決定

方法(1) 瞼裂幅の測定

準備物 万能距離計

患者をリラックスさせ、前頭筋を使用しないで開瞼させ、正面視させる

片眼ずつ瞳孔縁のやや外側で瞼裂幅の最も広い位置にて万能計を被検者の顔と検者の指で固定し、眼瞼縁を0に合わせ他方の眼瞼縁の位置を測定する



結果・記載例)

R: 9mm
L: 8mm

判定基準)

日本人の瞼裂幅

正常値縦径 : 左右差 1mm以下

異常の疑い : 左右差 2mm以上眼瞼下垂の疑い

平均値 : 縦径 8~9mm 横径 26~29mm

成人平均縦径 : 7mm 6~12mm

幼児平均縦径 : 6mm

老人平均縦径 : 5mm

視能学 P216

眼科検査法ハンドブック第3版 P221

個人差が大きい。

判定例)

R: 正常
L: 正常

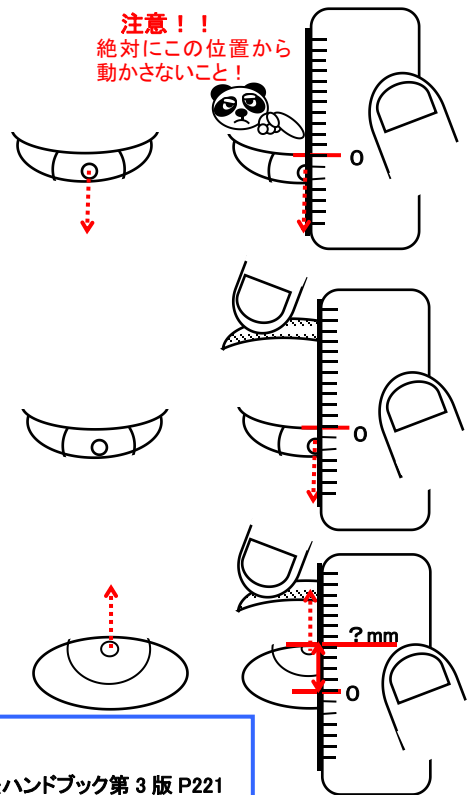
自分の結果を書いておこう!

方法(2) 眼瞼挙筋機能測定

準備物 万能距離計

被検者に最下方視を指示し、この時の最も下方の上眼瞼縁の位置で万能計を被検者の顔と検者の指で固定し、万能計の0を合わせる

注意!!
絶対にこの位置から動かさないこと!



眉毛が上がりおでこに皺がよるといことは前頭筋を使用しているということだよ!

目盛の位置をそのまま動かさず、母指で患者の眉毛上部を後ろへ軽く圧迫して前頭筋作用を止める

右眼の場合、万能計を逆にして決めた数字の基準から測定すれば良い。

次に被検者に最上方視を指示し、この時の上眼瞼縁の位置を測定する

結果・記載例)

R: 6mm
L: 15mm

判定基準)

日本人の挙筋作用

平均値 : 14.5 mm

正常値 : 15 mm以上

異常 : 成人 12 mm以下

検査法ハンドブック第3版 P221

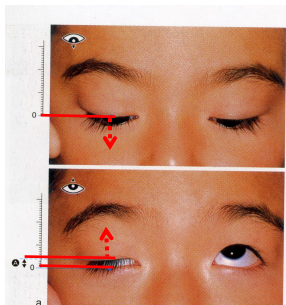
視能学 P216

検査法ハンドブック第3版 P221

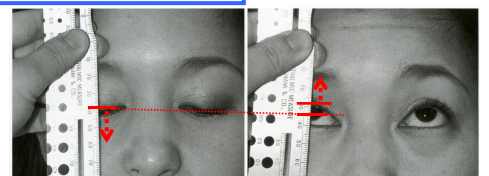
判定例)

R: 挙筋機能低下
L: 正常

自分の結果を書いておこう!



久保田伸枝: 眼瞼下垂 P35

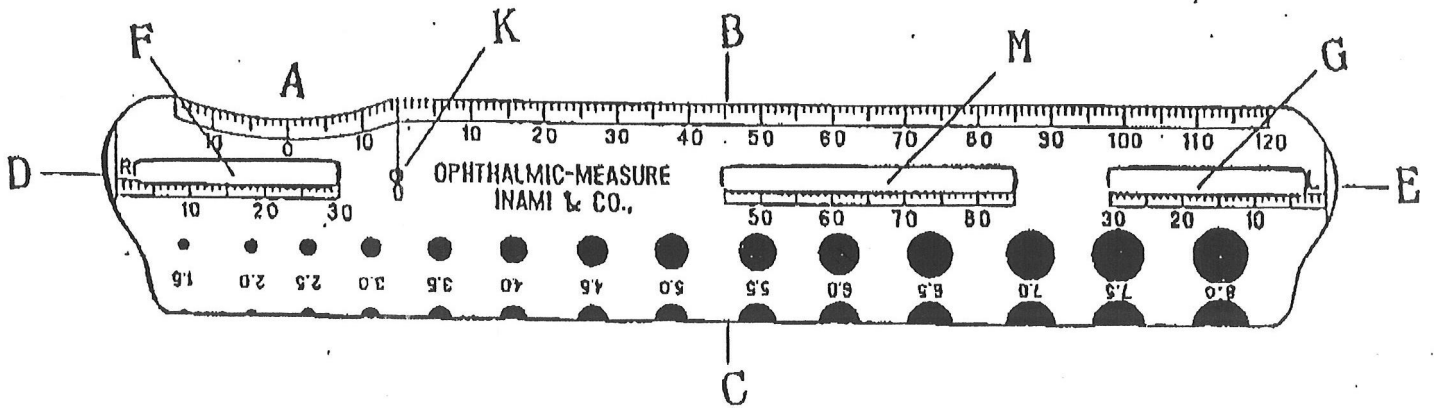


野田実香: 眼科検査法ハンドブック4版 P213



三田式万能計使用方法

説明書より



本器は、定規、瞳孔距離計、瞳孔径測定、斜視計、眼球突出計として使用できます。

- A. 斜視計
- B. 通常の定規（瞳孔距離測定にも使用可能）
- C. 瞳孔径測定用半円スケール
- D. 患者右眼用眼球突出計
- E. 患者左眼用眼球突出計

* 計測器の左端部（D）は患者右眼の眼窩の縁（Orbital edge）に当てがい、検者は窓（F）を通して患者の角膜表面の位置をスケールで読み取る。右側の端部（E）は左眼の眼窩の縁に当て観察窓（G）を通して角膜表面を観察測定して下さい。

簡単な瞳孔距離測定法

患者の右眼でピンホール（K）をのぞかせる、左眼の瞳孔中心部を観察窓（M）を通して測定します。